

学校経営推進費 事業計画書

1. 事業計画の概要

学校名	履正社高等学校
取り組む課題	B キャリア教育の充実（生徒の希望する進路の実現）
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国公立大学進学者数の増加 ・ 外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上 ・ 全国的な学力コンクールでの顕彰 ・ 学校評価アンケートにおける生徒の思考力、判断力、表現力の向上
計画名	「フューチャークラスルーム：FCR」（プレゼンテーションルーム）で「21世紀型教育」を推進～「学びを楽しめる生徒」の育成

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標	<p>令和4年度事業計画</p> <p>2. 教学等計画</p> <p>2-1 中学校・高等学校</p> <p>② 学校運営の課題</p> <p>新学習指導要領の実施と大学入試改革が進行する現在、「受け身の教育」から、生徒が「主体的に学ぶ教育」への転換を促すものであり、ICTの活用やアクティブ・ラーニングの展開を通じて、物事を「探究」する能力を育成することをめざしている。本校においても、教育課程や行事計画等、教育活動や教育内容を、常に見直し、新しい時代に相応する学校運営体制の確立を図り、21世紀型教育を推進する。</p>	
事業目標	<p>ア. 「学びを楽しめる生徒」の育成</p> <p>1、2年生の「総合的な探究の時間」では、現実社会を題材に、「正解のない問い」を通して、仲間と対話し、意見をまとめて発表することで、思考力・判断力・表現力やコミュニケーション能力を育む教育プログラム「QUEST EDUCATION」を実施する。また放課後に、英語によるコミュニケーション技能を身につけるために、ネイティブ教員がオールイングリッシュで行う「グローバルゼミ」を実施する。その際、可動式教育用チェア「ノードチェア」と、前方と後方に大型ホワイトボードを配置した「フューチャークラスルーム：FCR」を活用し、現在の普通教室より、効率よくグループ討議、プレゼンテーションを行うことで、「受け身」ではなく「主体的」に学びに向かう力やコミュニケーション力を身につけた「学びを楽しめる生徒」の育成をめざす。</p>	
取組みの概要	整備する 設備・物品	<p>選択教室を「フューチャークラスルーム：FCR」（プレゼンテーションルーム）に改築</p> <p>・ 可動式教育チェア「ノードチェア」（16台）、大型ホワイトボード（2式）の整備</p>
	取組内容 前年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「システム検討会議」による「新しい履正社高校」の基本計画策定（4月） ・ 「履高あり方検討委員会」メンバーによる具体的方策（総合探究、専攻ゼミ、部活動、ネット担任制度等）の検討（4月～3月） ・ 「探究活動」先進的取組校担当者への取材（12～3月） ・ 「総合探究」担当者による指導計画の策定（2～3月） ・ 全教員対象研修の実施（3月）

		初年度	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合探究」、「グローバルゼミ」担当者による授業・講習の実施（通年） ・「総合探究」担当者による指導内容の打ち合わせ（毎週土曜日） ・「フューチャークラスルーム：FCR」完成・全教員による研修（10月） ・「履正 CUP（総合探究発表会）」の実施（11月） ・「QUEST CUP」全国大会予選出場チームの決定（11月） ・全国大会予選へのエントリー（12月） ・「学校評価アンケート」の実施・集計・分析（1～2月） ・次年度に向けた指導内容の検討・決定（3月）
		2年め	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合探究」、「グローバルゼミ」担当者による授業・講習の実施（通年） ・「総合探究」担当者による指導内容の打ち合わせ（毎週土曜日） ・「履正 CUP（総合探究発表会）」の実施（11月） ・「QUEST CUP」全国大会予選出場チームの決定（11月） ・全国大会予選へのエントリー（12月） ・「学校評価アンケート」の実施・集計・分析（1～2月） ・全国大会への出場・佳作以上を受賞（2月） ・次年度に向けた指導内容の検討・決定（3月）
		3年め	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合探究」、「グローバルゼミ」担当者による授業・講習の実施（通年） ・「総合探究」担当者による指導内容の打ち合わせ（毎週土曜日） ・「履正 CUP（総合探究発表会）」の実施（11月） ・「QUEST CUP」全国大会予選出場チームの決定（11月） ・全国大会予選へのエントリー（12月） ・「学校評価アンケート」の実施・集計・分析（1～2月） ・全国大会への出場・優秀賞以上を受賞（2月） ・次年度に向けた指導内容の検討・決定（3月）
	取組みの 主担 ・実施者	<ul style="list-style-type: none"> ・主担：教務部入試広報室（広報・探究推進リーダー） ・取組みの実施者：1、2年生「総合的な探究の時間」担当者、「グローバルゼミ」担当者 	
成果の検証 方法 と評価指標	初年度	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型選抜による国公立大学合格者数が3名以上。 ・「スタディーサポート」のGTZ B1レベル以上が生徒全体の20%以上。 ・探究活動の発表会である「QUEST CUP」全国大会予選に参加。 ・「学校評価アンケート（生徒対象）」における「授業や課外活動を通して、思考力、判断力、表現力等が向上していると感じる」の肯定的評価70%以上 	
	2年め	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型選抜による国公立大学合格者数が5名以上。 ・「スタディーサポート」のGTZ B1レベル以上が生徒全体の25%以上。 ・探究活動の発表会である「QUEST CUP」全国大会に出場し、佳作以上を受賞。 ・「学校評価アンケート（生徒対象）」における「授業や課外活動を通して、思考力、判断力、表現力等が向上していると感じる」の肯定的評価75%以上 	
	3年め	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型選抜による国公立大学合格者数が10名以上。 ・「スタディーサポート」のGTZ B1レベル以上が生徒全体の30%以上。 ・探究活動の発表会である「QUEST CUP」全国大会に出場し、優秀賞以上を受賞。 ・「学校評価アンケート（生徒対象）」における「授業や課外活動を通して、思考力、判断力、表現力等が向上していると感じる」の肯定的評価80%以上 	